

国立大学法人宮崎大学

(中期目標)

## 目 次

(前文) 大学の基本的な目標	1
◆ 中期目標の期間及び教育研究組織	1
1 中期目標の期間	
2 教育研究組織	
I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標	2
1 教育に関する目標	
(1) 教育内容及び教育の成果等に関する目標	
(2) 教育の実施体制等に関する目標	
(3) 学生への支援に関する目標	
(4) 入学者選抜の改善に関する目標	
2 研究に関する目標	
(1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標	
(2) 研究実施体制等に関する目標	
3 社会との連携や社会貢献及び地域を志向した教育・研究に関する目標	
4 その他の目標	
(1) グローバル化に関する目標	
(2) 附属病院に関する目標	
(3) 附属学校に関する目標	
II 業務運営の改善及び効率化に関する目標	3
1 組織運営の改善に関する目標	
2 教育研究組織の見直しに関する目標	
3 事務等の効率化・合理化に関する目標	
III 財務内容の改善に関する目標	3
1 外部研究資金、寄附金その他の自己収入の増加に関する目標	
2 経費の有効活用に関する目標	
3 資産の運営管理の改善に関する目標	
IV 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標	4
1 評価の充実に関する目標	
2 情報公開や情報発信等の推進に関する目標	
V その他業務運営に関する重要目標	4
1 施設設備の整備・活用等に関する目標	
2 安全管理に関する目標	
3 法令遵守等に関する目標	

# 国立大学法人宮崎大学中期目標

## (前文) 大学の基本的な目標

宮崎大学は、「世界を視野に地域から始めよう」のスローガンのもと、学際的な生命科学の創造及び地球環境の保全のための科学を志向した教育研究に取り組んできた。

これらの実績を踏まえ、『異分野融合を軸に「地の利、人の利」を活かした教育研究等の推進』や『地域と共に興す「新たに光る宮崎ブランド」の確立と発信』に取り組む、地域活性化の拠点として、また、特色ある学術研究を宮崎から世界へ発信する拠点としての機能を一層強化する。

上記の目的を達成するため、各分野において以下のような取り組みを推進する。

### 【教育】

異分野融合や地域課題を活かした教育を基盤に、グローバル社会において地域・日本・世界を牽引できる人材を育成するとともに、地域の学びの場としての機能を強化する。

### 【研究】

生命科学を基盤に、環境・食・エネルギーを加えた4分野を重点分野とし、全学的な連携・融合による研究を推進し、地域発のイノベーションを創出するとともに、人類・社会の持続的発展に寄与する。

特に、産業動物防疫分野においては、地域の特色や蓄積してきた実績等を踏まえ、世界的な研究及び人材育成の拠点化を目指す。

### 【国際化】

県内自治体及び企業等と連携した留学生の受入や海外留学等を推進し、地域の中核的国際拠点としてグローバルキャンパスを構築する。

### 【医療】

県内医療機関において医療情報を共有する次世代医療ICT基盤を整備し、診療及び研究の高度化を図るとともに、県内唯一の大学病院として地域医療を主導する。

## ◆ 中期目標の期間及び教育研究組織

### 1 中期目標の期間

2016（平成28）年4月1日～2022（平成34）年3月31日

### 2 教育研究組織

この中期目標を達成するため、別表1に記載する学部、研究科及び別表2に記載する教育関係共同利用拠点を置く。

## I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標

### 1 教育に関する目標

#### (1) 教育内容及び教育の成果等に関する目標

- 1) 基礎教育と専門教育が有機的に連携した教育システムの整備・充実を図り、グローバルな視点から自らの力で未来を切り拓くことのできる資質を備えた人材「グローバルデザイナー」を育成する。【1】
- 2) 大学院では、「グローバルデザイナー」としての資質を深化させるため、高度な専門性及び国際性を備えた人材を育成する。【2】

#### (2) 教育の実施体制等に関する目標

- 1) 学修支援機能を強化するため、教育環境の整備を推進する。【3】
- 2) 教育の成果・効果を検証するシステムを強化し、教育の質の向上及び改善を図る。【4】

#### (3) 学生への支援に関する目標

- 1) 学部・大学院学生の希望や専門領域に応じた学修支援及びキャリア形成支援等を充実・強化する。【5】
- 2) 学生生活に関する相談・支援体制を充実・強化する。【6】

#### (4) 入学者選抜の改善に関する目標

- 1) アドミッション・ポリシーに基づき、多面的・総合的に評価する入学者選抜方法を整備する。【7】

### 2 研究に関する目標

#### (1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標

- 1) 研究戦略に定める世界水準の重点領域研究を推進するとともに、異分野融合を軸に、日照時間が長く自然環境に恵まれ、農林水畜産業が盛んな地域の特質を活かした宮崎発のイノベーションを創出する。【8】

#### (2) 研究実施体制等に関する目標

- 1) 研究戦略に即した重点的な研究環境の支援体制を整える。また、他機関との連携や共同研究の推進に伴う研究実施体制を整備する。【9】
- 2) 次世代のイノベーション創出に向け、多様な個性と能力を最大限に活用するため、女性・若手研究者の確保と育成を推進する。【10】

### 3 社会との連携や社会貢献及び地域を志向した教育・研究に関する目標

- 1) 産学官共同・連携研究を推進し、大学での研究成果を地域社会に還元する。【11】
- 2) 高等教育機関及び初等中等教育機関との連携などにより、地域の青少年教育の充実に貢献する。【12】
- 3) 地（知）の拠点として、宮崎県等と問題意識の共有と連携を行い、全学を挙げて地域の課題解決に取り組み、本学独自の「地域志向型一貫教育」を構築する。【13】

### 4 その他の目標

#### (1) グローバル化に関する目標

- 1) 地域の中核的国際拠点として、グローバルキャンパスを構築し、更なる国際展開に務める。【14】
- 2) グローバル社会で活躍する人材を育成するために、日本人学生の外国語教育の充実を図り、外国人留学生等との交流を推進する。【15】

## (2) 附属病院に関する目標

- 1) 全国レベルの次世代医療ICT基盤を宮崎県に導入し、医療情報を共有、活用することにより、診療及び研究の高度化、効率化を図る。【16】
- 2) 本学が指定管理者として管理運営を行う「宮崎市立田野病院」及び「介護老人保健施設さざんか苑」を活用した地域医療連携体制を構築する。さらに、宮崎県や医師会と連携し地域医療計画策定と実施の支援を行い、宮崎県内唯一の大学附属病院として、宮崎県の地域医療を主導する。【17】
- 3) 臨床研究の倫理、臨床論文作成を含めた臨床研究支援体制を確立する。【18】
- 4) 本院の理念である診療、教育、研究を遂行するために、医師の労働環境改善やブラッシュアップに努め、十分な医師を確保する体制を整備する。【19】
- 5) 病院管理会計システム（HOMAS2）、宮大病院データウェアハウス、国立大学病院資料等を活用して統合的に附属病院経営を評価し、臨床指標等のデータに基づくPDCAサイクルを回す体制を構築し、病院経営の基盤の改善、強化に努める。【20】
- 6) 医療安全の取り組みを強化する。【21】

## (3) 附属学校に関する目標

- 1) 学校種間の接続や一貫教育に関わる先導的で実験的な教育課程、学習指導法等を研究し、改善を推し進め、優れた教育実践を普及・啓発する。【22】
- 2) 附属学校での実習を通じて学生・院生の実践的指導力を育成するとともに、附属学校での教育活動への参画を通じて学部・研究科教員の実践的な指導力をより高める。【23】

## II 業務運営の改善及び効率化に関する目標

### 1 組織運営の改善に関する目標

- 1) 全学的な戦略に基づき、ガバナンス機能の強化に繋がる学内資源再配分などの組織運営の改善を図る。【24】
- 2) 教職員の人事・給与制度の適正化や弾力化に努めるとともに、教職員の能力強化を推進する。【25】
- 3) 学内の教育・研究・社会貢献・大学経営等に関する情報を収集・分析し、大学運営に活用する。【26】
- 4) 教育、研究、社会貢献及び大学経営を支援するため、安心、快適な情報環境を持続的に整備する。【27】

### 2 教育研究組織の見直しに関する目標

- 1) 本学の強みや特色、社会的役割を常に見直し、大学の機能強化に繋がる教育研究組織の改革を行う。【28】

### 3 事務等の効率化・合理化に関する目標

- 1) 積極的な業務改善により業務の効率化・合理化を図るとともに、その改善結果を踏まえた事務組織の見直し等を行う。【29】

## III 財務内容の改善に関する目標

### 1 外部研究資金、寄附金その他の自己収入の増加に関する目標

- 1) 安定した財務の確立をめざし、外部研究資金、寄附金その他の自己収入の増加に努める。【30】

### 2 経費の有効活用に関する目標

- 1) 大学戦略や機能強化に繋がる経費の有効活用を推進する。【31】

### 3 資産の運用管理の改善に関する目標

- 1) 大学の機能強化に繋がる資産の運用管理の改善や有効活用に努める。【32】

#### IV 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標

##### 1 評価の充実に関する目標

- 1) 大学の諸活動について、恒常的なPDCAサイクルの下、不断の見直しを行う。【33】

##### 2 情報公開や情報発信等の推進に関する目標

- 1) 情報公開や情報発信等を推進し、国内外へのアカウンタビリティを果たす。【34】

#### V その他業務運営に関する重要目標

##### 1 施設設備の整備・活用等に関する目標

- 1) 大学の経営戦略を踏まえ、強みや特色を活かす教育研究環境施設等の整備・活用を図り、環境保全を推進する。【35】

##### 2 安全管理に関する目標

- 1) 学生及び教職員の安全管理に十分に配慮し、安全安心なキャンパス環境を維持する。【36】

##### 3 法令遵守等に関する目標

- 1) 法令遵守を啓発・徹底し、適正な法人運営を行う。【37】

別表1 (学部、研究科等)

学部	教育学部 医学部 工学部 農学部 地域資源創成学部
研究科	教育学研究科 看護学研究科 工学研究科 農学研究科 地域資源創成学研究科 農学工学総合研究科 医学獣医学総合研究科

別表2 (教育関係共同利用拠点)

<p><b>【教育関係共同利用拠点】</b> 九州畜産地域における産業動物教育拠点 (農学部附属フィールド科学教育研究センター・住吉フィールド (牧場))</p> <p>照葉樹林とスギ林業および多様な森林生態系を生かした教育共同利用拠点 (農学部附属フィールド科学教育研究センター・田野フィールド (演習林))</p>
---